

境内神社 御門神社

例祭 日 四月十日

會計法適用  
指定年月日

神饌幣帛料供進 明治四十一年一月十八日

指定年月日 縣令第一號

氏子戸數 千六百〇七戸  
崇敬者員數 二百八十五戸

◎鹿兒島縣郷社之部

○鹿兒島縣薩摩國鹿兒島市清水町

郷社

南方神社

祭神

建御名方刀美命 八坂刀賣命

相殿

事代主神 御食津神 大宮賣神 玉槌産靈神  
足産靈神 生産靈神 神皇産靈神 高皇産靈神

三國神社傳記に「本社者信濃國諏訪郡南方刀美神社、上宮者所祀建御名方命、下宮者八坂入姫命也、於當國者上宮者建御名方命、下宮者事代主命と祭來也」とあり、さて當社の由來を紹ぬるに、同記に文治二年丙午正月八日島津忠久信州鹽田庄地頭職に補せられ、同年又薩摩大隅日向三國の惣地頭職に補せらる、かくて文治五年巳酉陸奥守藤原泰衡を征す、忠久時に歳十一、副將にて前軍に都督たり、此時信濃國諏訪神社に祈り大に勝利を得、其軍功に依り同國大田莊地頭職となる、五代貞久に至り薩州山門院へ遷祀宗社と崇敬、曆應の比貞久鹿兒島郡可矢上高純を退治して其子氏久に譲る、氏久の時山門院諏訪明神を今地へ遷座して神領等寄附す、年代凡そ正平の比なり云々」とあり地理纂考には正平十一年丙申十二月十八日と明記したり。島津氏の崇敬頗る厚く、其祭儀其他の古記録は載せて同記に詳なり、「山田聖榮自記に貞久公御在國の時は信濃に御下、本社諏訪大明神を抱き御申、山門へ崇祝御申候、同神馬鷹御居御下向あり、去に依て道鑑より諏訪御崇給以來、鷹の御事御奔走於今有、次